

2024（令和6）年8月22日

文部科学大臣 盛山 正仁 様

減プラスチック社会を実現する NGO ネットワーク
および賛同 36 団体

スポーツ振興くじの助成に環境配慮を求める要望書

私たち「減プラスチック社会を実現する NGO ネットワーク」および趣旨に賛同する 36 団体は、児童・生徒・競技者をはじめとする人や環境への影響が懸念される人工芝生施設が国内各地で増加することを強く懸念しています。

文部科学省におかれては、各都道府県教育委員会等に対して「人工芝を発生源とするマイクロプラスチックの流出抑制に係る周知協力について」（令和6年5月28日付）の事務連絡が発出されております。しかしながら、人工芝生施設から周辺環境へのマイクロプラスチックの流出を抑制することは十分にはできません。ましてや大気中への飛散の防止はほぼ不可能です。

2023年のG7広島宣言には「2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心を持って、プラスチック汚染を終わらせることにコミットしている」と明記されました。人工芝生のスポーツ施設（サッカー場やテニスコートなど）や校庭などは、プラスチック汚染を助長するものと言えます。

既設の人工芝生施設については、可能な限りマイクロプラスチックの流出抑制に取り組む必要があります。一方、人工芝生のスポーツ施設（サッカー場やテニスコートなど）や校庭が増える大きな要因に、スポーツ振興くじを原資とする助成金制度の存在があることから、以下のとおり要望致します。

記

スポーツ振興くじ助成金の地域スポーツ施設整備助成において、グラウンド芝生化事業の対象から人工芝生化を外すなど、助成制度の見直しを求めます。

以上

スポーツ振興くじの助成に環境配慮を求める要望書 提出団体

減プラスチック社会を実現する NGO ネットワーク メンバー団体(五十音順)

特定非営利活動法人 OWS
国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン
一般社団法人 JEAN
公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)
全国川ごみネットワーク
特定非営利活動法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議
一般財団法人地球・人間環境フォーラム
公益財団法人日本自然保護協会
特定非営利活動法人日本消費者連盟
公益財団法人日本野鳥の会
特定非営利活動法人パートナーシップオフィス
特定非営利活動法人プラスチックフリージャパン
容器包装の 3 Rを進める全国ネットワーク
一般社団法人リアル・コンサベーション

賛同団体 (五十音順)

特定非営利活動法人アーキペラゴ
エコハウスしずおか
特定非営利活動法人エコロジカル・フットプリント・ジャパン
SDG s 木曾川流域の地産地消を楽しむ会
大阪ごみ減量推進会議
小山の環境を考える市民の会
環境問題を考える会
環境を考える相模原の会
木曾川河畔の文化的景観を守る会
ごみ・環境ビジョン 21
さがみはら環境問題研究会
特定非営利活動法人静岡県環境カウンセラー協会
ゼロエミッション逗子
認定特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会
奈良エコライフ研究会
22 世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
日本消費者連盟関西グループ
減らそうプラスチックの会
特定非営利活動法人プロジェクト保津川
山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト
有害化学物質削減ネットワーク
リサイクル∞プおがわ